

広徳寺通信

LETTER FROM KOUTOKUJI TEMPLE

67

2017年春号



▷ 暮れのお餅つき・大掃除の後は、忘年会！会食しながらカラオケを楽しみました。



▷ 毎年恒例のニシン漬けを住職夫妻が作りました！塩分控えめ唐辛子多めの力作です！



▷ 本堂の向拝（ごはい）からこんにちは！暮れの大掃除では婦人会・成年会の方が大活躍！



▷ 毎年12月28日はお餅つき！新年を迎えるために、本尊様と三社殿等にお供えします。



▷ 元朝祈禱の様子。大般若の経巻を転読（てんとく）して良き年であるようにご祈禱します。

▶ 年末年始のお寺の様子！

▶ お餅つきと忘年会をしましたよ

年の瀬12月28日（水）は、毎年恒例のお寺の大掃除とお餅つき。普段お寺にお手伝いに来てくださる成年会・婦人会の方々が新年を迎える準備をしてくださりました。終わって、みんなで忘年会！会食をしながら、カラオケで盛り上がりましたよ！

▶ 元朝祈禱を行いました！

毎年元旦0時から三社殿（金毘羅さん）にて、元朝祈禱が行われました。ここでご祈禱されたお札がお正月のお参りで配られます。毎年、三社殿がいっぱいになるくらい、だいたい12~13名の方が集まります。終わって本堂にて、今年一番はじめの朝課（朝のお勤め）が修行されました！

▶ 先住忌の準備が着々と進んでいます

3月16日（木）の先住忌に向け、本堂の障子張替え、尊宿寮の畳替え、座布団カバーの新調等、法要に向け準備が進んでいます。このような機会に改めてお寺の什物を見てみると、どれも寄付されたものばかり。この度の皆様の寄進からお寺が維持されていることを実感します。

「降らない降らない」と春のようにアスファルトの見えるおだやかなお正月でしたが、寒の入りになってやっぱり雪が降りました。降らなかったら楽だけど、降らなかったら降らなかったでなんだか落ち着かない、人間の心のあわただしいことです。

▶ 春のお寺の行事予定

▶ 梅花流詠讃歌

毎週土曜日 午後1時半~3時半
毎週の練習会の他に、講習会や検定会、大会に参加しています！

▶ 婦人会

毎週火曜日 午前9時半~11時半
お寺参りのお手伝いの他、毎週火曜日に手芸などのお楽しみ会を開催。成年会との懇親会（温泉）や忘年会もありますよ！

▶ 朝ヨガ

毎月第3木曜日 朝5時45分~6時45分
冬期間4月までお休みです。次回は5月から！次号で日程をお知らせしますね。

▶ 写経

毎月第2日曜日 午後3時~4時
筆をもって心静かにシャンとする。
2月12日（日）・4月9日（日）
※3月はお休みです。

▶ 坐禅

毎月第3日曜日 午後4時~5時
リンと背筋を伸ばしてすわります。
2月19日（日）・3月19日（日）
4月16日（日）

3月16日

春のお寺参りでは先代住職の法要「先住忌（せんじゅうぎ）」があります。たくさんのお参りお待ちしております。

▶ お寺の庭より - お寺の日々をつれづれに

十三回忌。私はまだ三十代という若さでした。亡くなった日、一般では納棺師と呼ばれる方が全てして下さるのだと思いますが、あの頃は亡くなった先代住職を棺に納めるまでのお世話は全てお坊さんがやりました。私は布団を用意し真っ白なシーツを敷き真っ白な布で枕を作りそこに寝かせて、鼻の下の傷のところだけ化粧してあげました。後は、駆けつけて来て下さったたくさんのお坊さん達で事が進み、見ることも許されませんでした。本葬を迎える日まで夢中で準備に追われた日々を思い出します。あれから二十二年。私もいつか来るその日のために、嫁に来る時に持たされた布団に真っ白なシーツを敷いて寝かせてもらえるように準備して、お嫁さんに頼みました。何処で最後の時を迎えるのかはわかりませんが、送ってもらうときは一度は布団に寝かせてもらいたいと思います。時の経つのは本当に早いものですね。やりたいことをやり残さないように、一日一日を大切に健康で一生懸命生きて行きたいです。

寺族 高橋 佳子

▶ 先住忌特集！ - 先住忌ではどのようなことをするのでしょうか？

Q そもそも先住忌（せんじゅうき）とはなんですか？

先 住忌（せんじゅうき）とは、お寺の先代住職様の年忌法要です。お寺とは、お釈迦様より伝わる教えを人々に伝える場所です。また、地域にあって人々の心の安らぎの場所として、ご先祖様や大切な人が眠る場所でもあります。そのようなお寺が、今日私たちのそばにあるのは、地域の方々と思いを共にしてこられた歴代のご住職様たちが求道の汗を流してきたからです。ただ、何とはなしにお寺が今まで続いてきたわけではありません。この度は、先代住職様の23回忌の法要を行い、その労をねぎらい、先代住職様にご縁のあった御寺院様を各方面からお招きし、曹洞宗でもっとも正式な焼香の儀礼をもってお勤めいたします。



Q 先住忌（せんじゅうき）では何をしますか？

先 住忌（せんじゅうき）では、出班焼香といい、曹洞宗でもっとも正式な儀礼をいたします。本堂内のお坊さんが恭しく香を重ねていき、法要中で18回もお拝をすることで先代住職様へ最大のご供養をします。めったに見られる法要ではありません。大導師に本寺である高龍寺ご住職 永井正人老師をお迎えし、また、説教師として、曹洞宗では大本山の禅師様に代わりお説教をお勤めなさっている、札幌市薬王寺ご住職 田中清元老師をお招きしております。

▶ 先住忌特集！ - 先住忌のみどころは？

POINT 1

総勢60名のお坊さんの読経に身心をゆだねてみる

こ の度の法要では、先代住職に縁のある御寺院様、並びに北斗市近郊の御寺院様、およそ60名の方々がいらっしゃいます。先住忌においては、『法華経（ほけきょう）』の「観音経（かんのんぎょう）」一卷が読誦されます。大人数での読経は、皆様の体の内側から響いてくることでしょうか。本山以外ではなかなか聞くことができるものではありません。

POINT 2

ベテランの説教師による法話があります

い つもと異なり、お説教は法要の前に行われます。しかも、お話しして下さるのは、特派布教師（とくはふきょうし）を長年勤めてこられたベテランのお説教師さんです。たいへん親しみやすいお話をしてくださるので楽しみですね。

Q 寄付はどのようなことに使われるのですか？

お 寺のこととはいえ、何に使われるかわからないものにお金もなあ、という方もいらっしゃるでしょう。お寺では、毎年の護持会費によって、建物の簡単な修繕や光熱費等（*1）、お寺の維持を行います。いっぽう、寄付によってお寺の什物を調えたり、畳の張り替え等多少費用のかかる修繕を行います。また、大法要ともなれば遠方より来られる関係御寺院様の接待があります。お寺ではこれまで280年の長きにわたり、先住忌や晋山式（しんさんしき・住職就任式）といった大法要にて、たびたび寄付を募ってまいりました。そうすることで過去にも、土地の寄進から始まり、地藏堂建造や須弥壇寄進、三十三観音寄進等と、広徳寺が少しずつ少しずつお寺として充実してまいりました。お寺が始まって一気に今の形になったわけではないのです。お檀家様の少しずつのお心がよりよいお寺を育てています。とはいえ、寄付ですから、皆様の状況に合わせたものをいただければ結構です。

（*1）詳しくは、年度末の護持会会計報告をご覧ください。

Q 先代住職とはどのような方なのですか？

先 代住職は1910年、明治終わりに峠下の明林寺に生まれました。その後、南茅部の覚王寺に移りますが次男であったため、高龍寺の方丈様に弟子入りします。駒沢高等女学校にて教員を勤めた後、函館石崎の善宝寺住職に就任。1962年に広徳寺の六世住職となり、先々代の事業を引継ぎ本堂庫裏を修築なさいます。1988年まで26年間務めました。住職を退いた後は、北海道神恵内村にある月舟寺の住職に就任、1995年に86歳にて遷化なさいました。本寺である高龍寺様より、御開山様に準じる「中興」の位を与えられました。

POINT 3

曹洞宗でもっとも丁寧なご供養を体験する

出 班焼香（しゅつばんしょうこう）とは曹洞宗でもっとも丁寧な供養の仕方です。お釈迦様のほか、御開山様ならびに御開山様に準じる「中興」のご住職様しかこの儀礼を執り行うことは許されておりません。めったに行うことのできない法要です。この法要中、大導師様は計18回のお拝を先代住職様に捧げます。厳粛な法要を是非体感してみてください。

POINT 4

先代住職よりお礼の品がございます

お 参りに来てくださった方には、先代住職よりささやかなお品をご用意してあります。そちらもどうぞお楽しみに。3月16日（木）当日たくさんのお参りをお待ちしております。
※お檀家様皆様への記念品も別途お送りいたします。